

校訓	真善美	令和8年度 学校だより 「荒中だより」 4月 卯月 第4号	発行日	令和8年4月28日
教育目標	自ら考え、協働し、 未来を拓く生徒の育成 -認め合う心 確かな学力、健やかな心身を育てる-		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

大切にしたい「いつも」の生活

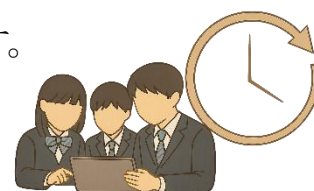
暦の上では、春が終わる「穀雨（こくう）」を過ぎ、まもなく夏の始まりを告げる「立夏（りっか）」を迎えようとしています。春の雨が大地を潤し、草木が勢いよく芽吹くこの時期は、自然にとっても、そして私たちにとっても、次の季節へと歩みを進める大切な時期です。



さて、新年度が始まって約一か月が過ぎました。新しい学年、学級、人間関係の中で、緊張しながらも、一生懸命に毎日を過ごす姿がみられます。一方で、この時期は、緊張や気温の変化から、心や体に疲れがたまりやすい頃でもあります。「少し眠そうだな」「集中するのが大変そうだな」と感じられる場面もありますが、それは新しい環境に真剣に向き合っている証でもあります。

こうした時期だからこそ、これから大切にしたいのが「『いつも』の生活」です。毎日の登下校、授業への取り組み方、友だちとのやりとり、放課後や家庭での過ごし方といった日常の積み重ねが、みなさんの心と体を支える土台となります。これからは大きな行事を控え、慌ただしい日々が続きますが、その土台が整っていてこそ、行事も充実したものになります。

特に、放課後の時間は、自分らしさを伸ばす大切な時間です。友だちと体を動かすこと、好きなことに取り組むこと、家族とゆったり過ごすことなど、その過ごし方はさまざまです。



荒牧中学校では、今年度からタブレットを用いた「放課後タイムプラン」の取組を始めました。毎日の終礼の中で、今日の放課後をどのように過ごすか、昨日までの睡眠時間や学習時間はどうであったかを見つめる時間を取っています。しっかりと取り組み、自己調整力を育てていきましょう。

また家庭学習を生活の一部として定着させることも大切です。毎日机に向かう習慣や授業の振り返り、自分で考える時間をもつことが、学ぶ力を少しずつ育てていきます。今年度、従来の「MY学ノート」を「MY PATHノート」としてリニューアルし、自主学習の充実を図ります。これらの取組を通して、自らを律し、落ち着いた生活につなげていければと考えています。保護者の皆さまには、引き続き、ご家庭での温かい声かけや見守りをよろしくお願いいたします。

これからの学校生活では、中間テストや宿泊行事など、大きな行事が続きます。中間テストは、これまでの学習を振り返り、自分の理解度を確かめる大切な機会です。1年生は、小学校の学習内容の定着確認としてCRTテストを実施します。また、宿泊行事では、集団生活の中で協働する力や責任感、仲間と支え合うことの大切さを学びます。結果だけでなく、準備や取組の過程を大切にしていきたいと考えています。

【部活動地域展開について】

現在、伊丹市では部活動の地域展開に向けた取組が進んでいます。運動部は夏以降、文化部は秋から部活動がなくなります。ご家庭におかれては、活動時間や費用などで、ご負担をおかけすることになるかと思えます。しかし、中学生の3年間は心も体も大きく成長する時期です。自分のやりたいことや興味のあることに関わり、自分の幅を広げるため、積極的に参加してほしいと思っています。

各地域クラブ活動の詳細は、伊丹市地域クラブポータルに掲載されています(<https://itami.club-portal.jp>)。ぜひ、参考にし、連休を利用して相談してください。また、5月10日には、体験会も実施されます。



伊丹市 地域クラブポータル

学校としても、子どもたちが安心して活動できるよう、地域や関係機関と連携して環境作りに努めていきます。また、地域クラブのことで、不明な点がありましたら、伊丹地域クラブサポートセンター(電話:072-769-6161 火～土13:00～19:00まで)にお問い合わせください。

温かい人間関係で結ばれた学校を創ろう!!